事務事業評価シート(総括表)

事務事業	50	生涯学習指導者・支援者バンクの充実
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち
大項目	01	生涯学習、スポーツの推進
施策	03	生涯学習、スポーツの条件整備

事業内容

目的	生涯学習活動団体の中から、広く生涯学習・生涯スポーツを指導・支援する個人や団体を登録し、生涯学習活動希望する区民を支援する体制を確立する事で、生涯学習活動の充実を図ります。
対象・手段	①対象：区内在住・在勤・在学の個人または区内に活動拠点のある団体。 ②手段：広く区民や、各種団体へ指導者登録の働きかけを行うとともに、研修会・講習会を実施し、多様なニーズに対応できる登録者や、登録ジャンルの増加を図ります。また、財団事業での積極的な登録者の活用や、地域事業とのコーディネートを通じて、制度活用の増加をめざします。

成果（事業が意図する成果）

文化・スポーツのバンク制度を一体的に充実し、生涯学習の活動成果を地域に還元するしくみの一端を担うことで、協働・参画社会実現の一助となります。

事業成果指標

指標名	定義	目標水準
文化等学習支援者バンク登録者	文化等学習支援者バンク登録者数	（ 平成19 ）年度に （ 250人 ）の水準達成
スポーツ指導者バンク登録者	スポーツ指導者バンク登録者数	（ 平成19 ）年度に （ 400人 ）の水準達成
		（ ）年度に （ ）の水準達成

成果の達成状況

		単　位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備　　考
事業成果指標	目標値１①	人	250.00	250.00	250.00	250.00	
	実績１②	人	99.00	128.00	139.00	195.00	
	③＝②／①	%	39.60	51.20	55.60	78.00	
	目標値２④	人	400.00	400.00	400.00	400.00	
	実績２⑤	人	250.00	268.00	276.00	278.00	
	⑥＝⑤／④	%	62.50	67.00	69.00	69.50	
	目標値３⑦		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績３⑧		0.00	0.00	0.00	0.00	
	⑨＝⑧／⑦	%	0.00	0.00	0.00	0.00	

事業の実施内容

平成18年度	文化等支援者バンク登録者数は個人139人、団体18。登録者研修会1回、「お試し体験講座」を34件実施しました。 スポーツバンク登録者276人。体育館指導員・各種スポーツ教室・学校プール開放・地域団体への派遣実績89名。
平成19年度	文化等支援者バンク登録者数は個人195人(団体２５含む）。登録者研修会１回、「お試し体験講座」を２３件実施しました。 スポーツバンク登録者２７8人。体育館指導員・各種スポーツ教室・学校プール開放・地域団体への派遣実績７2名。

部名称	地域文化部	課名称	生涯学習コミュニティ課

		単　位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備　　考
トータルコスト	事業費⑩	千円	755	442	317	296	
	人件費⑪	千円	5,837	5,837	5,796	5,782	
	事務費⑫	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等⑬	千円	0	0	0	0	
	総計⑭＝⑩＋⑪＋⑫＋⑬	千円	6,592	6,279	6,113	6,078	
	受益者負担⑮	千円	0	0	0	0	
	純計⑯＝⑭－⑮	千円	6,592	6,279	6,113	6,078	
	受益者負担率⑮／⑭	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源⑰＝⑯－⑱	千円	6,592	6,279	6,113	6,078	
	特定財源⑱		0	0	0	0	
	一般財源投入率⑰／⑭	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.70	0.70	0.70	0.70	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	

事業に関する検討課題

今後、地域スポーツ・文化事業、放課後こどもひろば等の、地域参画事業の運営を円滑に実施し、生涯学習社会を実現していくためには、多くの地域人材・団体の確保が必要とされます。
現在、さまざまな部所、団体が個別に保有している区内の人材情報、活動情報を包括的に網羅する統合的バンクとしての制度整備が求められています。

評価基準に基づく評価と理由（『3・2・1』の3段階評価です。）

達成度	2	文化等学習支援者及びスポーツ指導者バンクの登録者については、財団事業への活用やＰＲを行い、５８人の増となりました。達成率は７２．８パーセントとほぼ計画どおり達成できました。
実施の成果	3	登録者数が増加したことにより活用件数も５件増加しました。このことにより、「放課後子どもひろば」「新宿シティハーフマラソン」「お試し体験事業」など活用機会が増えました。
効率性	3	この事業は生涯学習財団に委託することで、スポーツ・文化の垣根を超えた多様化する区民ニーズに応えられる事業展開が可能となり、より一層の事業の効率化が図られています。
行政の関与	3	人材バンクを充実するために、分類別にネットワーク化を図り、現場で総合的に管理できる仕組みの構築を行う上で、地域組織団体の活動情報の共有化、区関係部署、地域との連携・協働が必要であり、区の関与は妥当です。
妥当性	3	人材バンクの登録者を増やす目標設定は、生涯学習活動を希望する区民の多様な要望に応えたもので適切です。
施策寄与度	3	生涯学習財団事業への活用の機会・場を積極的に提供し、人材バンク制度のＰＲを行ってきたことにより、３年間で登録者数も１２４人の増となりました。この事業は施策目的達成に寄与していると評価します。

総合評価

１９年度は、通年での登録周知や、事業関与の呼びかけを行ったことで、登録者の増加においては一定の効果をあげています。そのためＢと評価します。
また、過去３年間の登録者数については、１．５倍に増加しているためＢと評価します。文化等学習支援者バンクの「お試し体験講座」やスポーツ指導者バンクにおいては、小学校こども広場の支援ボランティアでの活動機会の拡充などの成果をあげてきました。今後、学校部活動支援や、子どもひろば、総合型地域スポーツ・文化クラブの設立など、地域参画事業での指導者・事業運営協力者の需要は、一層高まると予想されるなかで、人材確保に向けての環境整備が着実に進んでいるものと評価します。

※ **B**

過年度評価

18年度	B
17年度	B
16年度	B
15年度	

改革方針

生涯学習社会実現のために、幅広い生涯学習活動に対し指導・支援できる地域人材を、効率的かつ柔軟に有効活用できるバンク制度として、両バンク制度を統合するとともに、既存の活動団体も内包した総合的な人材バンク制度として整備します。
更に、登録情報を広く区民に周知し、気軽に検索、派遣依頼ができ、派遣しやすい方策を検討します。また、登録者・登録団体対象の研修・面談等を通じて登録意図・技量の把握に努め、財団地域事業などと連携した積極的なコーディネートを実現するとともに、ボランティア的活用の促進を図る新たな仕組みを検討するなど、第一次実行計画「５③生涯学習指導者・支援者バンクの充実」に引き継いで取り組んでいきます。

方向性

※ 4

拡大